

各県だより

このコーナーでは、各都道府県組合から寄せられた、全国の組合、ホール等による各種の社会貢献・寄付活動を毎月紹介しています。

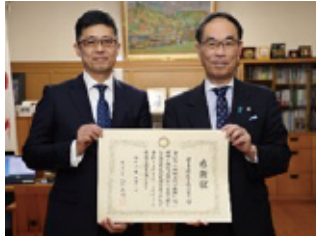
各都道府県組合による社会貢献活動

顕彰／表彰／感謝状授与

埼玉

埼玉県知事から感謝状授与

埼玉県遊技業協同組合(趙顕洙理事長)は、埼玉県の自主的な文化活動や地域の文化振興を目的とした「埼玉県文化振興基金」に多大な貢献(寄附)を継続しているとして、2024年3月12日(火)、大野元裕埼玉県知事から感謝状が授与された。



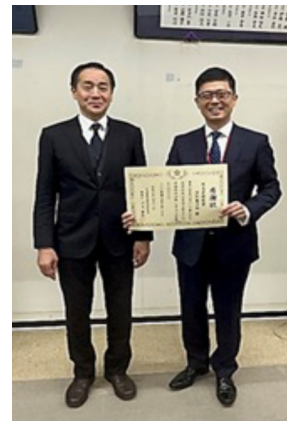
埼玉県警察生活安全部長から感謝状授与

埼玉県遊技業防犯協力会趙顕洙会長は、地区の防犯協力会と合同での警察署主催の街頭防犯キャンペーン等への参加や協賛、防犯啓発チラシの寄贈等の貢献が認められ、2024年3月12日(火)、埼玉県警察生活安全部長から感謝状が授与された。

千葉

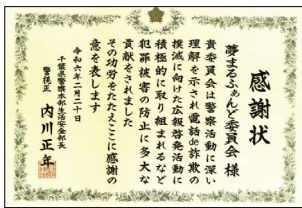
「夢まるファンド委員会」に県警生活安全部長から感謝状授与

千葉県遊技業協同組合(星山聖達理事長)と千葉県内メディア3社(千葉テレビ、ベイエフエム、千葉日報)で構成する「夢まるファンド委員会」は、電話de詐欺被害防止対策として注意喚起を継続的に行っていることに對し、2024年2月20日(火)、千葉県警察本部生活安全部長から感謝状が授与された。



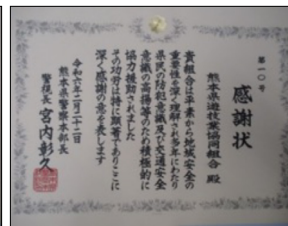
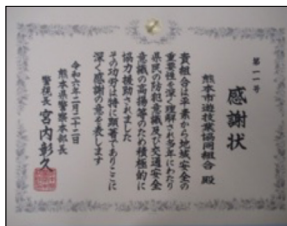
熊本

熊本県警察本部から感謝状授与



熊本県遊技業協同組合(藤井俊博理事長)及び傘下の熊本市遊技業協同組合は、長年にわたる全国地域安全運動及び秋の交通安全運動への支援により、2024年2月22日(木)、熊本県警察本部から感謝状が授与された。

両組合では、約30年にわたり全国地域安全運動の期間中に犯罪抑止のテレビCMの制作・放送及び防犯グッズ等の作成・配付に関する支援を行うとともに、秋の交通安全運動期間中の交通安全・事故防止のテレビCMの制作・放送に関する支援を行っており、安全安心な社会の実現と県民の交通安全意識の高揚に多大な貢献をしたことが評価された。



寄付／寄贈

青森

「文部科学大臣杯争奪鷹揚旗選抜剣道大会」運営資金を寄付

青森県遊技業協同組合(若林浩司理事長)は、2024年3月7日(木)、陸奥新報社に対し、同社が共催する「文部科学大臣杯争奪鷹揚旗全国選抜剣道大会」の運営資金として寄付を行った。

同県遊協では、本大会が青少年の健全育成を目的とし、礼に始まり礼に終わるという礼儀と思いやりを育もうとするものであり、組合の社会貢献の趣旨に沿うことから、2015年大会から継続して大会運営資金を贈呈して支援している。

大会は3月29日～31日の間青森県武道館で開催され、熱戦が繰り広げられた。

山形

県内知的障がい者施設に車いすを寄贈

山形県遊技業協同組合(井上静夫理事長)では、2024年2月29日(木)、山形県社会福祉協議会傘下の知的障がい者施設

12カ所に対し、入所・通所者の心身機能に則し、かつ施設の環境に適合する車いす15台を寄贈した。

車いすは、床ずれ防止のクッション付きや寝たままの状態でもベッドに移動できるもの、そのまま浴室に入れるもの、テーブル付きで食事や作業もできるもの、フルリクライニング機能付き等、機能性や有用性が高いものを選定した。



福島

「子ども食堂ネットワーク」に助成

福島県遊技業同組合連合会青年部会は、2024年2月14日（水）に開催した同県遊連新春実務セミナーの席上、ふくしま子ども食堂ネットワークに助成金を贈呈した。



静岡

県内授産施設製品を購入し組合員ホールの賞品として提供

静岡県遊技業協同組合（富田直樹理事長）は、障がい者自立支援活動事業の一環として、2023年度も県内の授産施設から製品を購入し、組合員ホールにおいて賞品として提供を開始した。2024年2月22日（木）、組合員ホールのアプリイ中原（静岡市駿河区）で本件セレモニーを実施した。

同県遊協では、2000年度からNPO法人オールしずおかベストコミュニティ」と協働



して、授産施設で製造された製品（タオルハンカチ、マスク、トイレットペーパー、割り箸等）の販路拡大、授産事業振興及び障がい者への経済的な自立支援に寄与することを目的に本事業を継続している。

ふじのくに未来財団に寄付

同県遊協は、2024年2月8日（木）、静岡パチンコ・パチスロファン感謝祭売上金の一部を、社会貢献活動の一環として公益財団法人「ふじのくに未来財団」に寄付した。

寄付金は、同財団を通じて静岡県内における各種社会貢献事業に活用される。



岡山

「犯罪の起きにくい社会づくりの推進に関する協定」に基づき防犯対策用電話録音機を寄贈

岡山県遊技業協同組合（千原行喜理事長）は、2024年3

月8日（金）、岡山県遊技業防犯協力会（千原行喜会長）と岡山県警察本部が2017年に締結した「犯罪の起きにくい社会づくりの推進に関する協定」に基づき、岡山県警察へ防犯対策用電話録音機100台を寄贈した。

当日は、同協力会千原会長から岡山県防犯協会専務理事へ防犯対策用電話録音機100台分の目録を交付した。録音機は、その後岡山県警察本部に渡され、希望する家庭に配付される。



防犯／防災活動

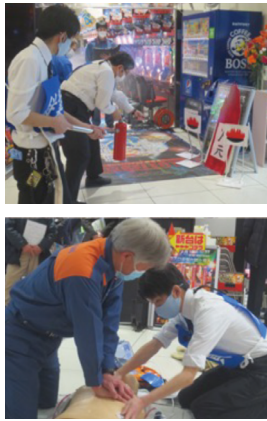
大分

組合員ホールを会場に消防・防災訓練を実施

大分県遊技業協同組合（木下哲二理事長）は、2024年3月5日（火）、大分市所在の組合員ホール「キングイーグルズ大分明野店」において、大分市中央消防署の指導のもと防火訓練を実施した。

同県遊協では、2001年に大分市内のパチンコホールで放火事案が発生し、同店店長が焼死するという事案を経験しており、以後、同種事案の再発防止と風化させないため消防署等の指導を受けながら、消防・防災訓練を継続実施している。

当日は、同県遊協木下理事長はじめ組合関係者約100名が参加し、火災発見・通報訓練、火災報知器作動に伴う行動確認訓練、消火器作動訓練、店内放送訓練、お客様避難・負傷者発見・救護訓練、訓練用水消火器使用訓練、AEDを使用した救命措置訓練等を実施した。



沖縄

「みかじめ料等縁なし隊」が暴力団排除運動を実施

沖縄県パチンコ・スロット協同組合(新垣善彦理事長)は、2024年2月14日(水)、浦添市内で、組合員はじめ関係者約

160名が参加し、来賓として沖縄県警察組織犯罪対策課長、暴追県民会議事務理事、弁護士を招き「第4回みかじめ料等縁なし隊暴力団排除運動」を開催した。

新垣縁なし隊長(同県遊協理事長)から、「暴力団等反社会的勢力は、隙をみせるといつみかじめ料等を要求してくるか予断を許しません。縁なし隊が中心となって、暴力団等反社会的勢力とは一切縁のない産業として県民から親しまれるパチンコ・スロットを目指して頑張りましょう」との挨拶があった。



各支部組合／ホール企業／組合員ホールによる社会貢献活動

寄付／寄贈

青森

八戸市の災害時非常用備蓄品購入を支援

青森県遊技業協同組合八戸支部(林克己支部長)は、2023年12月20日(水)、八戸市災害対策課から非常用備蓄品に係る購入支援依頼があったことを受け、災害に備える市民のための非常用備蓄品購入支援金を寄付した。

つがる市防犯協会に防犯カメラを寄贈

青森県遊技業防犯協力会西北五支部(林成鎬支部長)は、つがる市防犯協会からの依頼を受け、2024年2月20日(火)、地域防犯に資する目的で同協会に防犯カメラ1台(設置費用も支援)を寄贈した。

寄贈した防犯カメラは、来訪者が増加している市内の縄文遺跡付近に設置された。



埼玉

2市1町の社会福祉協議会へ寄付

埼玉県遊技業協同組合傘下の上尾遊技業組合は、2023年12月18日(月)、上尾市・桶川市・伊奈町の各社会福祉協議会に対し寄付を行った。



奈良

支部組合が市社会福祉協議会に寄付

奈良県遊技業協同組合傘下の橿原遊技組合(武田真司組合長)は、2023年12月12日(火)、橿原市社会福祉協議会に対し寄付を行った。



広島

防犯カメラを寄贈

広島県遊技業防犯協力会連合会傘下の呉遊技業防犯協力会(川崎徳来支部長)は、2024年1月30日(火)、呉市の「安全で安心なまちづくり」の推進に寄与するため防犯カメラ2台を寄贈し、呉警察署において「防犯カメラ運用開始式」を開催した。寄贈に対し、呉警察署長から感謝状が授与された。



イベント協賛／参加等

埼玉

犯罪被害防止・交通事故防止キャンペーンに参加

埼玉県遊技業協同組合傘下の浦和地区遊技業防犯協力会は、2023年12月8日(金)に開催された犯罪被害防止・交通事故防止キャンペーン(浦和警察署主

催)に協賛し、同キャンペーンの活動(街頭での防犯グッズ配布等)に参加した。



広島

「ボリスカップジュニアバスケットボール大会」に協賛

広島県遊技業協同組合傘下の広島市遊技業防犯協力会(延川章喜会長)は、2023年12月16日(土)～17日(日)に広島市で開催された「第15回ボリスカップジュニアバスケットボール大会」に協賛し運営費用を支援するとともに、同協力会延川会長が同大会実行委員長として、試合観戦、表彰式、閉会式に出席した。大会には、広島市内の中学校から男女各16チームずつが参加し、熱戦を繰り広げた。



POSSCがわら版

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POSSC)発行

vol.138

2024年度 助成事業内定式について

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構が、パチンコ・パチスロホール組合の連合会組織である全日遊連を社員とする組織であることを、助成団体に理解していただけるように2015年度から助成団体の所在地の都道府県組合での内定式の実施をお願いしています。2024年度は、共同助成の提案があった組合の中から、内定式を実施したい意向のあった、北海道・岩手・秋田・福島・三重・大阪・兵庫・高知・沖縄の9道府県組合で4月23日～6月14日までに実施しました。

2024年度 定時社員総会開催

2024年度定時社員総会の議題が決議されました。社員は「全日本遊技事業協同組合連合会」、「全日本遊技業防犯協力会連合会」で、議題は「2023年度事業・決算報告」、「2024年度事業計画(案)」、「2024年度予算(案)」、「役員報酬」、「社員の経費負担」、「役員承認」が承認されました。報告事項は「2024年度助成事業の選考結果」、「第19回社会貢献大賞の選考結果」、「役員案」について了承されました。

2024年度 助成事業活動PR

2024年度の助成団体は18都道府県24団体です。イベントPRチラシ・ポスターの制作・報告のあった次の3団体についてご紹介します。左から、沖縄県「一般社団法人むらわーカースホーム」、愛媛県「特定非営利活動法人松山さかのうえい日本語学校」、東京都「認定NPO法人ミュージック・シェアリング」です。また、助成団体の活動は機構ホームページと公式X(旧Twitter)に紹介しております。

